

いろいろ火の里 

みかわ

ぞかい

「おいしゅうな〜れ
おいしゅうな〜れ」

米価下落へ緊急支援

私たちの考えを町づくりに

みかわブランド推進を

町の課題に新たな展開を

現状と課題を再確認

スマイルキッズ

12月定例会

小・中学生との議場懇談会

一般質問

議会提言書

各団体との懇談会・議員研修

シリーズ⁵⁰

「がんばってます」

P2~3

P4~5

P6~12

P13

P14~15

P16

No.156
12月議会
2022.
1.15

米価下落に緊急支援



出荷を待つ令和3年産米

第6回議会定例会は12月7日から10日まで4日間の会期で開かれました。

諸般報告3件の後、令和3年度一般会計、農村集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計の補正予算を含む町長提案7件と議員発議1件が上程され、全議案とも全員賛成で可決されました。

また、一般質問は、6人の議員が町政全般について質問しました。(6〜12ページに掲載)

補正予算

問 新型コロナウイルス予防接種対策事業の内容は。

健康福祉課長 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種について鶴岡市との合同会議を行い、2回目から8カ月経過した接種対象者には、1カ月前に接種券を配布します。

問 予約受付の改善は。

健康福祉課長 前回よりも受付の電話回線を増やします。

問 出産支援給付事業の内容は。

子育て支援主幹 山形県の新規事業として平均出産費用を基に補助を行うものであり、町の対象者は55人を見込んでいます。

問 米価下落緊急支援事業補助金の内容は。

産業振興課長 米価下落による4年産米の生産意欲への影響を考慮して、3年度の種子購入代金に主食米作付面積10アールあたり10000円を補助するものです。

問 かまちづくり整備事業の進捗状況は。

建設環境課長 3年度にクレーグラウンド等の整備で93%です。

問 ふるさと基金の今年度末の残高見込は。

総務課長 4億3300万円です。

問 中小企業等振興支援事業の内容は。

産業振興課長 事業継続を応援するため、3年1〜9月までの収入が前年同期より10%以上減収した方々を対象に、上限30万円を補助するものです。

問 職員の時間外勤務手当及びその内容は。

総務課長 新型コロナウイルススワクタン接種対応等の時間外手当が27.2万円であり、平均時間

(2〜3ページまとめ 鈴木 淳士・志田 徳久)

外勤務は平日12日・休日12日で、月60時間残業になると代休制度で対応しています。

問 地域公共交通支援事業の内容は。

企画課長 路線バス(鶴岡〜酒田間)の三川運行距離に応じた支援として6台で108万円。デマンドタクシーは3台分で15万円の計123万円です。

問 除雪対策費の修繕費は。

建設環境課長 今年度の除雪前の点検で除雪車の修繕が必要になったためです。



臨時会

第5回議会臨時会は、11月29日に開かれました。

町長提案1件を審議し原案通り可決しました。

◎三川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について

条例説明
令和3年12月分期末手当を、0・1月分減額し、令和4年度からは年間期末手当を0・1月分減額する。(山形県人事委員会勧告に準じる)



新年あけまして
おめでとう
ございます



市長 栄市 佐藤

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、町議会を代表してお慶び申し上げます。

また、日頃より議会に対し格別なる御理解と御協力を賜り、衷心より感謝と共に御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの発生以来二度目の年明けですが、なかなか以前のような生活や活動ができない状況ではあります。幸いにも三川町では昨年8月26日以来感染者は出ていませんし、3回目のワクチン接種も始まります。このままの状況が続くことを願っております。本年が皆様にとりまして、実り多き年でありますように祈念いたします。

条例改正等

◎三川町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例の設定について

条例説明
国の「行政手続きの書面・押印・対面の見直し」に係る取り組みを踏まえ、本町の行政手続きにおける事務の効率化及び住民の負担軽減等を図る。

◎三川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

条例説明
出産育児一時金を4千円増額して40万8千円支給する。

◎三川町議会会議規則の一部を改正する規制の制定について

発議説明
男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護などによる欠席届制度の改正と、請願書への押印を改め、署名または記名押印に改める。

◎三川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

発議説明
男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護などによる欠席届制度の改正と、請願書への押印を改め、署名または記名押印に改める。

主な質疑

問 今回の改正により、どれくらいの見直しが行われるのか。

総務課長 条例7件のほかに、規則が57件、要綱が219件改正され、663件の押印見直しを実施されます。なお、契約書類等は従来どおりです。

問 オンライン申請への対応策の見直しは。

企画調整課長 来年度に具体的な方策を検討します。



横山小学校6年生が12月議会を傍聴

12月8日の一般質問を傍聴した皆さんから寄せられた感想の一部を紹介します。



マ 町の声を議員さんが伝えてくださり、課題についてたくさん話し合いをしていて、三川町をもっと良い町にしていきたいという思いがすぐ伝わりました。

ギ 議員さんや関わりのある人達が未来の三川町について考えているのがわかりました。

ナ 生で見るのはすごく緊張感があったし、意見に対していねいに返答していたのがすごいと思いました。

ミ 三川町にはたくさん課題があって、それを解決するために議会はやっているんだなと思いました。

ケ 経済のことや消防団について、とても良い話を聞かせてくれてありがとうございます。議員さんたちがどのような思いで町のために働いているかが、すごくわかりました。

イ 今の三川町は色々大変な物に直面していると聞き、自分は何かできないのかな？と思いました。

ジ 児童会では答えを後回しにできませんが、議会では後回しにすることなく考えをねって言っているということが良く分かりました。

ギ 議員さんがみんなの声を伝えていて、すごいと思いました。もっと議会を見てみたいです。



ぼ ぼくがたちが困っていることや悩んでいることも話し合っているのを知り、感謝しています。

ギ 議会では町長など担当の方々が正確に質問に回答していることが分かり、すごいなと思いました。

ケ 経済の情報、米の生産減などなどをくわしく分かりやすく話していて、良かったなと思いました。

「町の活性化を！」

中学生との
議場懇談会
11月17日



主な意見や要望

- 町体育館やアスレはあるが、屋外で身体を動かせる大きな施設が欲しい。
- 夜の間のバイクの騒音がうるさいので、騒音防止について条例化して欲しい。
- 三川町は米の生産が盛んなので、町内施設等にお米専門店をつくって欲しい。
- 通学用のヘルメットの統一をやめて欲しい。中で買い直す費用の面や、三川中以外は指定ヘルメットではないので、三川中も自由にして欲しい。
- 両田川橋に歩道を作って欲しい。歩いている人や自転車の人が危険。また押切の中高生がイオンに行くとき、車で送ってもらっている。
- 三川町の特産品を使った料理のレシピをホームページなどに載せ、三川町の農産物をPRする。
- 菜の花の時期に、自転車をレンタルできるようにし、その自転車に乗りながら観光客に三川の風と自然を感じてもらおう。
- 三川町にあるスポーツでまだ知られていないスポーツを広めるために、体験できる機会をつくる。
- 田田大橋下の広場について、もっと情報（運動やバーベキュー可能）を広めるためホームページを使って宣伝するのはどうか。
- 若者からお年寄りまで集まれる、「フラスセ」（庄内町）みたいな施設を作って欲しい。
- もっと多くの観光客に来てもらうために、町の特産物や町のキャラクターみかわん、方言を生かし、町のポスター、YouTubeなどで三川町を宣伝する。
- 町の図書館では飲食できないので、飲食ができて中高生が気軽に勉強で来る場所を設けて欲しい。
- 菜の花の時期に菜の花を生かした料理をふるまったり、作ったりするイベントを行う。

(4～5ページまとめ)

鈴木 重行・佐久間千佳

中学生の感想

生徒会長 片桐 愛夢



今日は貴重な機会を設けていただきありがとうございます。

私たちが生活していく中で感じることはたくさんあり、それを代表して議会で発表することができて良かったです。

三川町の方でも町民から意見を取り入れ実行していることなどがたくさんあるのがわかりました。ただ要望を持つだけでなく、それについて必要なことや町ではどんなことをしているのかなど深く考えていきたいと思いました。これから社会の公民の授業で地方自治について学びますが、今日のこのことを思い出し、より深く授業をしていきたいと思えました。お忙しい中、ありがとうございました。

「みかわをこんな町に！」

小学生との
議場懇談会
12月21日



小学校でがんばっている事

押切小学校

- ・児童会目標「スーパーマイル押切っ子」
- ・おたがいに思いやりを持つとう
- ・しっかりと伝わるカスタネット返事
- ・きちんとあいさつ・ニコペコリ
- ・りっぱな行動でさすが○学生
- ・ころなに負けない押切っ子

東郷小学校

- ・「はじける笑顔で明るいあいさつ」めざせ！あふれる思いやり122心を一つに」をスローガンに日常活動や企画に一生懸命取り組んでいる
- ・あいさつ運動、空き缶・ペットボトルキャップ回収
- ・いじめ講座、廊下歩行、あいさつ強化月間など

横山小学校

- ・横山しぐさ・さん・くん付で、思いやりあふれるいじめ差別0の学校づくり
- ・ボランティア活動（空き缶集め・募金活動）
- ・読書活動の推進など

主な意見や要望

- 誰もが安心して暮らすことができる三川町にしたい…地下道や電灯などの環境改善と障がい者も安心して歩行できる信号や点字ブロックを！
- あいさつなど礼儀がしっかりとできる三川町にしたい…地域や日常でも相手を明るくさせられるあいさつを！
- にぎやかで活気ある町にするために、今ある交流イベントやサークル、町の魅力を活かし、多くの人に知ってもらおう…SNS発信やみかわんのアニメやお土産の商品化を！
- 安心安全な町にするために、災害への十分な備えをしておく…新聞紙スリッパや避難グッズ作りを高齢者との交流活動で！
- 三川町をより安心・安全な町にするために、交流を活かして地域の人との繋がりを強める…交流イベントへ若者と高齢者がお互いに教え合う交流を！
また、災害時に備えて一緒に避難訓練や避難所を交流場所として活用を！

懇談会を終えて

各学校でのがんばっていることでは、「あいさつ」「他人への思いやり」など大人になってからも大切な事を意識して行っているなど、素晴らしい内容でした。
今回の意見交換を活かしこれからも周りをよくするにはどうすれば良いかを考えながら活動してもらいたいと思います。

議員の感想

- 安全な三川町…信号機に音をつける、点字ブロックを増やして！
- だれから見ても楽しい三川町…三川町の特産品を取り入れたフェスなどを！
- 健康な三川町…健康に過ごすための講座や呼びかけなどを！
- すてきなところやよいところを上手にPRできる三川町…パンフレットやポスターの有効活用で観光客などに対する「おもてなし」を！

町政を問う

12月定例会

一般質問



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)



一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

12月9、10日6人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

小野寺 正樹 議員 (7ページ)

- 三川町農産物販売戦略について
- 三川町交流人口の拡大と観光振興について
- 健康診断の会場について

鈴木 重行 議員 (8ページ)

- 農家支援について
- 消防団員の負担軽減について
- 学童保育について

砂田 茂 議員 (9ページ)

- 子供の健康保持対策について
- 子育て世代の負担軽減について

佐久間 千佳 議員 (10ページ)

- 公共施設管理を通じた今後の町づくりは
- 教育のICT活用は

鈴木 淳士 議員 (11ページ)

- 空き家対策について
- 町の花「菜の花」の活用と拡大支援策について

志田 徳久 議員 (12ページ)

- 住民の安全・安心対策は
- 教育環境は
- 生活環境は
- 子育ては

(6) 12ページまとめ
砂田 茂・小野寺正樹

お米を中心としたみかわブランド推進を

町長 新農業所得構造改革推進事業の充実に努める

問

三川町こだわりのお米を中心としたみかわブランドの推進について、また特産品など地域固有の資源をいかした新たな商品の立ち上げや、販売戦略などについての考えは。

町長

総合計画に掲げている「みかわブランド」は、自然環境や景観、文化、特産品など地域固有の資源をいかした本町の魅力という意味であり町民や事業者の方々の発想により、自由に発信することを期待しています。

今後も町の農産物を全国に広く紹介し、販売に繋げているところであ



小野寺 正樹 議員

問

菜の花祭りの実施とイベントのあり

り、多種多様な情報発信により販売の拡大に努めていきたいと考えています。



咲き揃う菜の花畑

方について今後の見通しは。

町長

イベントについては、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に万全を期して、できる限り開催し、交流人口の拡大と賑わいの創出、さらに、地域経済の活性化に取り組んでいきます。

問

菜の花をシンボルとした観光振興にあたり現状と今後の動向は。

町長

町の花「菜の花」を前面に出したイベントになるよう努めています。

菜の花むすめによる写真撮影会のほか、望郷みかわ会総会への出席、テ



特産品の菜の花オイル

オトルの紹介ビデオへの出演、庄内空港やJRのイベント、あつたか冬まつりへの協力など幅広く活動して、そのPRに努めています。

健康診断を地域公民館で

問

町の健康診断の会場について、交通弱者や、年配者から地元公民館で行って欲しいと多くの意見が出されましたが町の考えは。

町長

これまで、検診会場として借用して

いて、今年度は社会福祉センターで実施しましたが、住民の要望を踏まえて、再度上町公民館で検診が実施できるよう庄内健康管理センター、及び上町町内会と協議していきたいと考えています。

「米価下落」農家に支援を

町長 種子購入費用を支援する



鈴木 重行 議員

問

令和3年産米の概算金が大幅に下落したことや、原油価格の高騰による生産資材の値上がりが続いており、農業経営がひっ迫しています。

町の支援策は。

町長

今回の概算金の下落と経費の増大は農業所得の低減につながり、農家の生産意欲の減退とともに、農家経済のみならず地域経済への影響も危惧されるところであります。

そこで、今年度は影響を受ける農家に対し、無利子での融資や、主食用米の種子購入費用を支援します。

問

また、国の直接支払い交付金の年内払いや、庄内たがわ農協における米価下落対策緊急短期資金の活用を促したいと考えています。

問

来年度からの農地参考貸借料への影響は。

農業委員会 会長

米の相対取引価格や、関係団体・



作柄は良かったのだが

問

農地の貸し手、借り手からのデータ収集等を行い、令和4年2月をめどに算定します。

経営の安定を図るため、異常気象や価格変動に対処する収入保険制度への加入を促進すべきでは。

町長

収入保険制度は、ほとんどの農産物や簡易な加工品など対象品目が多く、さらに、自然災害や鳥獣被害、倉庫の浸水による収穫物の損害など補填範囲が広いメリットの反面、青色申告など要件もあることから、経営状況に照らした判断が必要と考えています。

消防団員の負担軽減を

問

消防団の定員充足率と団員確保の取り組みは。

町長

消防団の定員300人に対し、消防団員は270人で、充足率は90%となっています。少子化の進展による若年層の減少に加え、就業形態の変化により被雇用者の割合が増えていることから入団者が減少しています。

地域のつながりの中で



精悍な消防操法

問

負担軽減の考えは。

町長

町消防団、周辺市町と情報共有しながら、来年度以降の消防団の在り方について検討を進めており、地域防災力の中核を担う消防団が将来にわたって継承されるよう考えています。

子どもの健康保持は

教育長 健診結果を保護者に通知



砂田 茂 議員

問 新型コロナウイルス感染症とその影響により子どもの健康が脅かされています。学校健康診断の結果と、受診

が必要とされた子どもが未受診対策は。令和2年度と3年度の健診結果を考察すると、検査項目によ

学校健診後受診状況 県全体

健診・検査	2019年度 未受診率	2020年度 未受診率	増減
歯科健診	40.6%	47.6%	7.0%
眼科健診	23.7%	40.6%	16.9%
視力検査	34.7%	40.0%	5.3%
耳鼻科健診	35.6%	41.3%	5.7%
聴力検査	18.6%	25.6%	7.0%
内科健診	26.4%	39.8%	13.4%

り数値の増減はみられるが、その要因が一概に新型コロナウイルスによる影響とは言えない状況です。

また、健診結果を保護者に通知し異常等があった検査項目については保護者の責任で医療機関を受診するようお願いしています。

問 いまだ未受診の子どもは保護者への啓発は。

教育課長 未受診が多いのは歯科、視力となつています。ことあるごとに受診のお知らせしており学校での個別面談の際も受診依頼をしています。

問 学校のトイレにトイレットペーパーと同じように生理用品を常備する際の衛生面での課題は。

教育課長 小学生では生理をむかえていない児童も多く使用頻度が低いため、長期間置かれていくことが想定されます。

子育て世代の負担軽減は

問 県内すべての市町村で中学3年生まで医療費の無料化を実施しており、さらに高校卒業まで拡大しているのは25市町村となつています。本町でも高校卒業まで拡大する考えは。

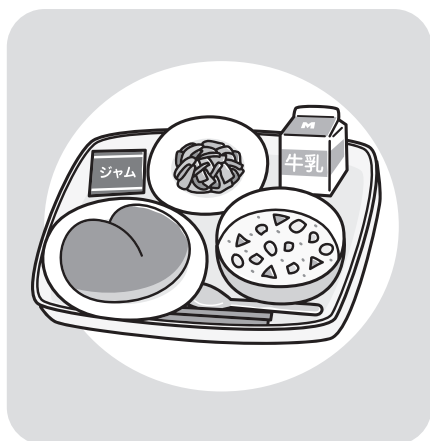
町長 令和3年10月に山形県知事に対し、高校3年生までの医療費の無料化を含む子育て支援策の充実に関する提案がなされたことから、引き続き、県及び近隣市町村の動向を注視しながら検討していきます。

問 現在までの検討状況は。

町民課長 高校生まで拡大した場合は、現在の中学生にかかる額を想定し検討していきます。

問 全国的にも動きのある学校給食無償化への考えは。

教育課長 全国の自治体の中には無償化を実施している自治体もありますが、多くの自治体では保護者が負担していますので、現時点では考えていません。



おいしい給食

いろいろ火の里を地域商社化へ

町長 現時点では考えていない



佐久間 千佳 議員

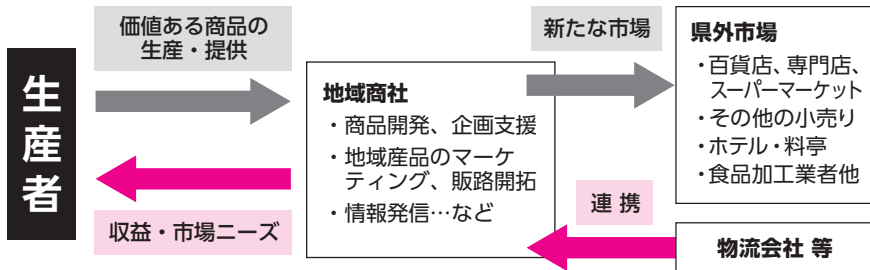
問 いろいろ火の里施設において、増大する維持管理費と多くの修繕費を要する状況ですが、町民福祉の向上と施設の在り方について、将来像を含めた検討をするべきでは。

また、民間活力の導入や観光、地域発信等の観点から地域商社化も併せて検討すべきでは。

町長 いろいろ火の里施設は、本町の交流、賑わいを創出する拠点施設であり、今後とも老朽化等には計画的に対応しながら、維持していきま

す。地域商社は「地域の農産物や加工品などの販路

地域商社イメージ



を、生産者に代わって新たに開拓し、市場から従来以上の収益を引き出す役割」を担い、観光振興や情報発信、地域経済の発展とともに、自らの事業収益も確保するというビジネスモデルです。

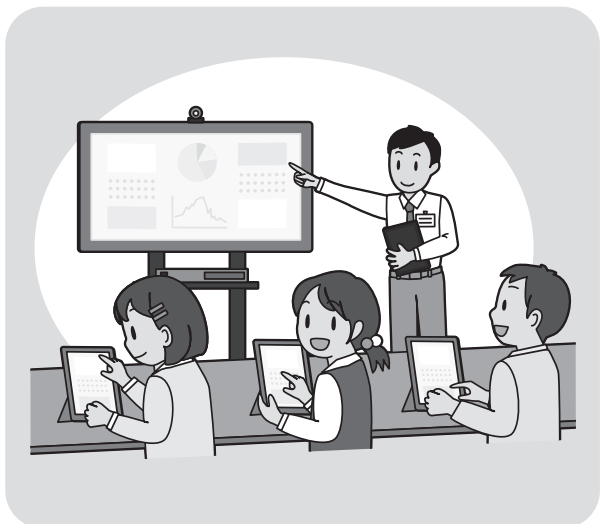
しかし、本町に限定した農産品は、種類や収量とも限定的であり、観光資源も多くないことから、事業として成立するには多くの課題があり、現時点で地域商社化については考えていません。

学校のICTを身近なものに

問 今後のタブレット端末やICTの活用方法について、子どもたち自身からアイデアを募集しコンテストを行うなど、多様な活用方法を検討すべきでは。

今年度のタブレット端末を使用した授業が行われる。今年度より本格的にタブレット端末

教育長 ICT活用に関する子どもたちからのアイデア募集は、授



業活用においては指導する教師の立場からの視点が重要であり、教育委員会としての取り組みは考えていません。

しかしながら、学校の総合学習の中で、児童生徒自らの課題を解決する手立てとしては適しているのではないかと捉えています。

問 今年度より本格的にタブレット端末を使用した授業が行われ

ていますが、教職員のスキル向上に向けた取り組みは。

教育長 各学校の代表者からなる三川町GIGAスクール推進委員会を開催し、活用事例の情報交換を行いながら校内研修を行うとともに、授業活用支援として民間事業者による外部研修会も実施し、スキルアップに努めています。

空き家寄附の取消しに問題ないか

町長 町の規則によるものであり問題ない

問

令和3年5月開催の三川町空家等対策協議会で「特定空家等」と「寄附受入」が議決された空き家に対する次の対応内容について、法的な問題は無かったのか。

①法律に基づく空家等対策協議会で議決した寄附受入を、町長の判断のみで取り消したこと

②寄附申出書を正式受理したにもかかわらず、(この空き家の)除却・分譲販売の業務委託料予算が不承認となったことを理由に、この空き家の寄附受入までも取り止めたこと

町長

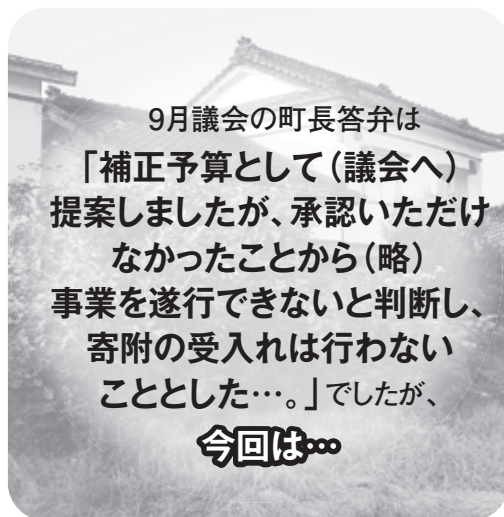
法律に基づく空家等対策協議会の意



鈴木 淳士 議員

見を聞いたうえで町が決定するものです。

また、寄附受入れについて空家等対策協議会から承認いただきましたが、町で定めた規則の要件を満たすことができず寄附受入れしないことに



9月議会の町長答弁は「補正予算として(議会へ)提案しましたが、承認いただけなかったことから(略)事業を遂行できないと判断し、寄附の受入れは行わないこととした…」でしたが、

今回は…

問

寄附申出を拒否した理由は、申出者本人に責任の無い理由と考えて良いか。

建設環境課長 町で定めた規則の要件を充足していない理由によるものであり、本人の責任ではないと考えています。

したものであり、法的に問題は無いと考えています。

※「規則の要件」とは、寄附受入後の維持管理に支障を来たすおそれがないこと、またその後の利活用が見込めるものであることです。

問

中学生と議員との議場懇談会における「菜の花の時期の自転車レンタル」「菜の花用の料理・試食のイベント」などの提案を、来年度の「菜の花まつり」で計画してみています。

町長

コロナ対策に配慮しつつ、提案された両方とも含めた内容で、来年の菜の花まつりができるだけ充実した内容にしたいと考えています。

問

菜の花の種子管理と併せて、その栽培農家拡大対策も必要では。

町長

キラリボシの菜種の振興策として助成金を増額等もしましたが、出荷先の問題や作業組合が解散するなど、栽培農家拡大の見通しは厳しいものと考えています。



「第4次三川町総合計画」より

町の花「菜の花」の種子管理が課題

菜の花の種は…

防犯灯の設置に町は

町長 補助金交付制度で対応



志田 徳久 議員

問 防犯灯の管理は、集落間は町で、集

落内は町内会となっておりますが、町内会によっては集落内の住宅の間が離れすぎて防犯灯の設置に苦慮しています。基準を定めて町で設置すべきでは。

町長 「町内会総合交付金制度」による防

犯灯電気料金の経費負担支援、「防犯灯改修等事業費補助金交付制度」による防犯灯改修・設置に係る経費負担支援により、町内会設置の防犯灯に係る支援を行っており、LED化の促進につながっています。



LED化した防犯灯

町内会ごとの状況も異なるので、一律の基準を定めるのは、現時点では困難と考えています。

問 防犯灯の改修・新たに設置する場合の補助金は。

総務課長 従来木柱を改修する場合には限られていましたが、本年度よりポール等も該当し、新設でも5万円を限度額に二分の一の補助です。

「置き勉」は

問 成長期における小

学生の教科書等の重さは通学の負担となっているので「置き勉」に対する町の考えは。

教育長 家庭学習で使わない教科書を学校に置いて帰る「置き勉」に



ランドセルを背負って通学

ついて、文部科学省より2018年に、家庭に持ち帰る荷物に配慮する旨の通知があり、これにより町内の各学校では、担任の指導により家庭に持ち帰る教科書の数を指定しながら、児童生徒のカバンの重さに配慮しています。

問 小学3年生の月曜日

の例では、ランドセル・絵本・体操着・水筒全体で計6・6kgを体重30kg位の子が背負って通学している現状をどう捉えているか。

教育課長 長期休みの前後は、持ち帰る量が多いので数日に分けています。月曜日は洗濯物の関係等が増えていきます。

問 小学生は、ランドセルにこだわらず

キャスター付きのバック等の利用も可能では。
教育課長 荷物の多いときなでも、必要な場合は可能でも、それが常時では指導上良くないと考えます。

議会より町へ政策提言

12月23日総務文教・産業建設厚生の両常任委員会が1年間検討し、「令和3年度議会提言書」として町長へ手渡しました。

デジタル化の推進について

課題

業務量が増加する一方、少子高齢化が続くことによる人口減少社会において、さまざまな課題を解決し、まちづくりを進めていくうえでICTの活用が今後更に重要な役割を果たすと考える。

デジタル技術を用いて業務の効率化を図るためには、システムの構築や機器等の導入・デジタル人材の育成・確保が必要となり、運用には計画的な進展が求められる。

提言

高齢化や人口減少などによる課題を解決する一つの手段として業務のデジタル化や自治体DXは効果的と考える。業務の効率化による町民サービスの向上に向け、業務内容を精査し、スマート自治体の実現を見据えたビジョンの策定に取り組むべきである。



災害予測にもなう避難情報 の伝達について



課題

本年5月から災害時における避難情報の呼び方が変わり、町から発令される「警戒レベル・避難指示」はわかりやすくなったものの、防災行政無線のスピーカーや広報車での呼びかけは大雨の際には聞こえづらい。また、SNSによる情報発信も高齢者などには伝わりにくい。

一部の施設では防災行政無線の戸別受信機の設置も行われているが受信状態など課題があり、情報が確実に行き渡るような伝達手段の構築が急務とされる。

提言

戸別受信機の受信状態の改善を早急に進めるとともに、状況に改善が見込まれない場合は、情報が確実に行き渡るような他の情報伝達方法を検討するべきである。

地域特性及び生活環境に応じた避難情報の伝達マニュアルを作成し、連絡体制の整備に取り組むべきである。

ごみ減量化に向けた今後の 方針について

提言

ごみ分別の徹底やごみ減量化にあたり、町民1人1人や各家庭での意識改革と共に地域が一丸となり取り組める施策を積極的に推進すべきである。

ここに、環境に配慮した町づくりに資する4項目を提言する。

1. 生ごみ発生の主な要因となる食事の「作りすぎ・食べ残し」を無くすことや、排出前の水切りの重要性についての意識向上を図るべきである。
2. 分別の徹底により、再資源化できるものは可能な限り再資源化に努めると共に、資源回収推進に係る支援を増強し、意識・意欲の向上を図る事である。
3. 排出量の少ない自治体の現状を調査、研究し要因分析に努めた上で、ごみ削減に関する事業を展開し、その効果を数値化して検証するべきである。
4. 地域や個人での減量化が図られる取り組みに対し、広く町民へ周知するなど、モチベーション維持や町民全体の意識向上につなげ、持続可能な施策を推進すべきである。



鶴岡市新ごみ焼却施設

町内会長との懇談会

政策提言について意見交換



11月4日、「町内会長と議会議員との懇談会」が開催されました。

今年度提出する政策提言「ごみの減量化について」と「災害予測にともなう避難情報の伝達について」を各常任委員長が説明し、町政の課題について意見交換しました。

また、効果のある戸別受信機や防災行政無線が聞き取りにくかった時はテレホンガイドで確認するなど、多くの意見が交わされました。

視 察 研 修

ごみ処理の流れを学ぶ

令和3年4月から供用開始したごみ焼却施設は、鶴岡市と三川町から集められた可燃ごみを安全に処理し、有害物質を外に出さない環境に配慮した施設となっています。

また「くるりん館」ではペットボトル、びん、缶、金属を貴重な資源物として手作業での分別が行われており、最終処分場は、覆土置き場、埋立ゾーン、水処理ゾーン、防災調整ゾーンからなり十分な環境保全対策がされています。

ごみの減量化に向け参考になる研修でした。

11月1日、鶴岡市ごみ焼却施設、リサイクルプラザ「くるりん館」、一般廃棄物最終処分場を廻りごみ処理について視察研修しました。



一般廃棄物最終処分場

(14) 15ページまとめ 砂田 茂・小野寺正樹

出羽商工会三川支部役員との懇談会

好評な「菜のCa」

12月15日出羽商工会三川支部役員との懇談会が開かれました。

イオン三川 田中店長より「イオンと地域の関わりについて」の講話の後、懇談が行われました。ふれあい牧場など循環型農業の推進、空き家の有効活用、コロナ禍で大幅な減収に対する運転資金の補助などの意見が出されました。

「菜のCa」の取り扱いに関して、「大変良かった。今後とも継続してもらいたい」などの意見が出されました。

最後にごみ減量化に向け、企業も家庭も楽しく取り組める内容であるべきとの提言をいただきました。



農政懇談会

農業所得向上対策を

12月16日 三川町農業関係団体との懇談会が開催されました。



庄内たがわ農業協同組合、太田代表理事組合長から「J A 庄内たがわこれからの農業振興策」について講演をいただきました。

米価が下落する中で、米と園芸作物の複合経営を推し進め一元出荷体制の充実に努めます。

また、老朽化する施設の持続と効率的な利用も緊急的な課題であることなどもお話いただきました。

きました。

意見交換会では、水田リノベーション事業の今後の動向や、米価下落に伴う三川町独自の支援策、農業所得向上対策等、大きく様変わりする現状に農業関係者一致団結して国や県に要望を出し、持続可能な農業の発展に取り組む必要があるなど、多くの意見が出されました。

がんばってます

子育てサークル「スマイルキッズ」 子どもも親も楽しんで交流を



「スマイルキッズ」は今から3年前、同世代の母親たちと話した何気ない育児の悩み相談がきっかけで結成された子育てサークルです。何人かの子供を持つある母親が「2人目を出産してから、子連れで外出するのが大変になった」ということを話していました。私も3人子を持つ母親ですが、外出するときは必ず下の子を抱っこしながら上の子たちと遊んだり買い物

をしたりしなければならぬので、とても苦痛に感じていました。

そこで「もつと子供達も自由に遊べて、親たちも交流できる場所が欲しい」「なら一緒にサークルを作ってみよう」このようにサークル活動がスタートしました。

立ち上げ当初は、月1回公民館のホール等を借りて自由に遊んだり、夏にはスイカ割りやプールを楽しんだり、クリスマス

スの時期には、町の「青友」の方々から協力していただき、クリスマス会を開催したりしました。講師の方から来ていただき、科学体験を行ったこともあり、様々な活動を展開しています。

コロナ禍になってからはなかなか活動は出来ていませんでしたが、今年度は畑を借りサツマイモを植え、収穫するという活動を行いました。春と秋には、まだ使えるけれど成長に伴い使わなくなった子育てに関する用品を集め、おさがり交換会をテオトルで開催しました。来館者に「とても楽しかった」と言っていた

だき、とても嬉しく思っています。

来年度も開催予定なので、興味があれば是非来ていただきたいと思えます。新しい仲間も募集しています。私たちと一緒に楽しく活動してみませんか。

スマイルキッズ

代表 大川 愛美



収穫したサツマイモと一緒に



「三川りっしょう子ども園 餅つき」

(写真) 佐久間 千佳

【表紙の写真】

編集室

新春の候、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響があったものの、東京オリンピックが開催され大きな希望と喜びがもたらされました。

今年には北京五輪や世界陸上・サッカーワールドカップなど世界中で盛り上がりがあるスポーツイベントがあり、コロナ禍での閉塞感や暗い気持ちも少しでも和らぐものと期待しています。

新たな変異株の拡大を注意しつつ、広聴活動も工夫しながら行いたいと思いますので、ご協力のご程、宜しくお願い致します。

佐久間 千佳



発行責任者 議会議長 佐藤 栄市
編集 広報常任委員会

委員長 鈴木 淳士
副委員長 志田 徳久
委員 鈴木 重行
委員 佐久間千佳
委員 砂田 茂
委員 小野寺正樹